

令和5年度
第5次地域福祉計画策定に向けた団体ヒアリング調査
調査結果報告書

令和6年3月

目次

1 調査の概要

(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象団体.....	1
(3) 調査方法.....	4
(4) 調査期間.....	4
(5) 調査項目.....	4

2 調査結果

(1) 活動を行う上での困りごと（問1）.....	5
(2) 地域の課題（問2）.....	9
(3) 団体等との連携（問3）.....	14
(4) 今後、連携したい団体等とその活動（問4）.....	23
(5) 生活課題を抱えた人との関わり（問5）.....	28
(6) 重層的支援に必要な取組（問6）.....	34
(7) 自由意見（問7）.....	37

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第5次地域福祉計画の策定にあたり、福祉分野で活動する市内の諸団体から、日頃の活動を行う上での困りごと、地域の課題、諸団体との連携、地域の福祉ニーズ、今後の地域福祉の推進に関する意見を把握することを目的に実施しました。

(2) 調査対象団体

市内で活動している各種ボランティア団体、NPO法人、関係機関等から抽出した以下の35団体を対象としました。

分野は、障害（5団体）、子育て（4団体）、学習支援（1団体）、高齢（13団体）、防災（4団体）、多文化共生（2団体）、事業所（3団体）、その他（3団体）の8分野です。

区分	団体名 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関	活動内容
障害（5団体）		
ボランティア団体	○あゆみの会	・障害者スポーツ、ボッチャの練習と普及、出張ボッチャ、福祉実践教室協力
	○グリーンピース （刈谷手をつなぐ育成会）	・知的障害についての啓発活動（福祉実践教室含む） ・会員、育成会ボランティアさんとの勉強会
	○こころのボランティアみなと	・精神保健福祉ボランティアとして、心の問題を抱えている方、精神障がいの方への支援、ひきこもりの方の社会参加へのきっかけづくり ・みんなの居場所開催、福祉施設での手伝いなど
NPO法人	◇特定非営利活動法人くるくる	・障害福祉サービス事業 就労移行支援、就労定着支援、就労継続支援B型、生活介護、自立訓練、放課後等デイサービス、通信制高校サポート校、障害者就業・生活支援センター
関係機関 （障害者支援センター）	◇基幹相談支援センター	・総合相談、専門的な相談 ・関係機関との連携のための会議、イベントへの参加 ・圏域の関係機関との協議への参加 ・自立支援協議会の運営事務局 等

区分	団体名 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関	活動内容
子育て（4団体）		
ボランティア 団体	○子育てサロン「あひる」	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳～就学前の親子を対象に子育てサロンを開催 ・定例会の実施（次月の企画、おもちゃづくり等）
	○ちびっ子森の探検隊	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児の親子と一緒に自然遊びをしながら、環境について学んだり、災害に役立つスキルを身に付ける
	○子育てネットワーク刈谷「エンゼル」	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び、おもちゃづくり、エプロンシアター、育児に関する相談等
NPO法人	◇特定非営利活動法人 子育て・子育てNPOスコップ	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場や子育て支援センターの運営 ・小学生の週末の居場所 ・中高生の居場所 等
学習支援（1団体）		
NPO法人	◇特定非営利活動法人 ぷらっとほーむ	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりをはじめとするさまざまな困難を抱えた子ども・若者やそのご家庭の支援 ・個別相談、居場所、学習支援、地域連携、普及啓発活動など
高齢（13団体）		
地域包括支援 センター	◇富士松地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者及び高齢者を支える人たちを対象に相談を受け付ける、地域密着型総合相談窓口
	◇刈谷雁が音地域包括支援センター	
	◇刈谷中部地域包括支援センター	
	◇刈谷中央地域包括支援センター	
	◇刈谷依佐美地域包括支援センター	
	◇刈谷朝日地域包括支援センター	
	◇刈谷市基幹型地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築を推進するため、市内6か所の地域包括支援センターとの総合的な調整と円滑な業務運営のための支援を行うとともに、市役所や関係機関と連携し、高齢者虐待の未然防止や個別支援を行う
いきいきクラ ブ	○重原第一巴会	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康づくり」「生きがいづくり」「仲間づくり」を目的とした、清掃活動や環境活動、スポーツや文化芸能活動、その他社会奉仕活動
	○西境あじさいクラブ 二春会	
	○小垣江すこやかクラブ	

区分	団体名 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関	活動内容
ボランティア 団体	○地域ボランティア いずみの会	・ひとり暮らしの高齢者の居場所づくり
	○築地竹の子会	・未就園児とその保護者を対象として交流の場を提供 ・地区の高齢者のサロン活動
	○東刈谷秋桜の会	・高齢者のサロン活動 オカリナ演奏、笑いヨガ、バルーン体験、ボッチャ、模写、ぬり絵 等
防災（4団体）		
ボランティア 団体	○刈谷防災ボランティア	・刈谷市防災リーダー養成講座支援 ・防災ボランティアコーディネーター養成講座支援 ・防災出前講座 ・防災研修、訓練の支援
自主防災会	○西境地区自主防災会	・防災に関する知識の普及・啓発 ・地域の災害危険の把握 ・防災訓練の実施 等
	○桜地区自主防災会	
	○東刈谷区自主防災会	
多文化共生（2団体）		
地域団体	○ワールド・スマイル・ガーデンーツ木	・多文化共生を掲げ、地域に住む日本人と外国人が集まり、ガーデン内で一緒に農作業（野菜苗・種の植え付けから収穫まで）を行う
ボランティア 団体	○スリーエス	・外国につながる子どもたちの日本語指導・学習支援
事業所（3団体）		
事業所	○(株)豊田自動織機 はあとふる倶楽部	・重点3分野（社会福祉、青少年育成、環境保全）を中心に、自主プログラムを企画し、活動 ・万燈祭りや合同地区パトロール等、地域と企業が連携した活動を継続
	○トヨタ車体(株) TABふれあいクラブ	・ボランティア自主活動の支援 間伐、外出支援、天体観察、スポーツ指導 等
	○デンソーグループ サンクスマイル刈谷	・商店街花植え、防犯パトロール ・養蜂を通じた地域共生活動 ・障害者就労支援事業所に対するサポート

区分	団体名 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関	活動内容
その他（3団体）		
更生保護関係	○刈谷保護区協力雇用主会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刑務所出所者等の就労受け入れ企業の団体 ・ 再犯防止のため、数多くの活動を実施 ・ 国、県、市町村における更生保護施策に意見を述べる
	○刈谷保護区保護司会刈谷支部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護観察…対象者との月2回の面談指導、保護観察所への報告 ・ 環境調整…矯正施設から出所される予定対象者が社会復帰にふさわしい生活環境にあるか調査、保護観察所への報告 ・ 犯罪予防活動…社会を明るくする運動、薬物乱用防止活動等
	○更生保護女性会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援、犯罪・非行防止、地域パトロール

（3）調査方法

調査は、郵送により調査シートを配付・回収する方法で実施しました。

また、「その他」を除く7分野から1～2団体（計9団体）を抽出し面談による聞き取り調査を実施しました。さらに、追加調査として、以下の中学校のボランティア活動を行うグループ（2団体）からも聞き取り調査を実施しました。

- ・ 刈谷南中学校 ボランティア部
- ・ 朝日中学校 ボランティアグループ

（4）調査期間

調査シートによる調査：令和5年10月20日（金）～11月10日（金）

聞き取り調査：令和5年11月29日（水）～12月26日（火）

（5）調査項目

調査シートの設問項目は次のとおり。

①団体のプロフィール

団体の名称、会員数、活動年数、主な活動地域、主な活動、活動開始のきっかけ

②団体の活動状況

活動を行う上での困りごと、諸団体等との連携状況、今後の連携意向

③地域の課題

活動を通じて見聞きする地域の課題、生活課題を抱える人との関わり

④今後の地域福祉

地域福祉のあり方、地域福祉推進に向けた意見・提案（自由意見）

2 調査結果

(1)活動を行う上での困りごと

問1 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。
(自由回答)

活動を行う上で困っていることとして、多くの団体が「新規メンバーが入らないこと（人員不足・後継者不足）」「参加者の減少」「メンバーの高齢化」「人材育成」など、人材確保・育成に関する課題をあげています。

このほかでは、「活動資金が不足している」「人が集まる際の移動手段が確保できない」「活動場所がない」「ICT化が遅れている」など様々な困りごとがあることがうかがえます。

相談業務等を担う専門機関（基幹相談支援センター、地域包括支援センターなど）では、「相談業務が増加かつ複雑化・多様化していること」「人員（量）・専門人材（質）が必要となっていること」「団体・組織間の連携・調整に苦勞していること」などの意見が寄せられています。

困りごと	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
①新規のメンバーが入らない (人員不足・後継者不足)	<p>○新規会員がない。※</p> <p>○育成会自体に、新しく若い人がなかなか入ってこないで、グリーンピースの活動を引き継いでいくことができていない</p> <p>○若い担い手の不足。</p> <p>○もうそろそろ有償ボランティアも考えた方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>○役員がない。引き受け手がない。</p> <p>○新規加入者が入ってこないため、後継者がいない（平均年齢が高まっている）。</p> <p>○活動を継続するための「新規会員（スタッフ）」の確保。</p> <p>○母子・高齢者サロン、ともにより多くの地区の方に来てもらいたいと思っているが、スタッフの人数を考えると限度もあるかと思う。</p> <p>○担い手不足。組織作り（組織表でなく広い意味）からしなければならぬが大変である。</p> <p>○地区委員（組長）さんの7割が現役のため、ボランティア時間が少ない。 ⇒地区委員（組長）任期1年→組規約の改定案→「組長の任期は原則2年、班長は1年再任は妨げない」……会員合意申請中。</p>

困りごと	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
①新規のメンバーが入らない ～つづき～	<p>○地域の方の担い手がない。規模や参加者数に対して、運営する側の人数が不足している。</p> <p>○新規加入者の減少</p> <p>○後継者不足や新たな会員・クラブがあまり増えない。</p> <p>○ボランティアの動員</p> <p>○今は保護司の人数の確保もできていますが、将来的に保護司の確保ができるか不安。</p> <p>○地区内での会員数のばらつき</p>
②参加者の減少	<p>○65歳以上でも会員になろうとしない人が多く、後継者がいない。</p> <p>○新規入会者が少ない。</p> <p>○新規入会者はここ10年で5人程度とほとんどない。老人クラブ自体の必要性がなくなっている。※</p> <p>○地域活動（ごみ0、防犯パトロール）に参加者が少ない（足の悪い人が多い）。</p> <p>○参加者が減少している。</p> <p>○自治会加入率の低下</p> <p>○会員数、参加者数（高齢者サロン参加者）も減少している。※</p> <p>○若い方の会員が減少</p>
③メンバーの高齢化	<p>○会員の高齢化</p> <p>○刈谷市身体障害者福祉協会でも高齢化が進んでいる。※</p> <p>○メンバーの高齢化</p> <p>○役員の高齢化が進み、個々人の負担が増している。</p> <p>○活動に参加する人の固定化、高齢化</p> <p>○クラブ員の高齢化</p>
④人材育成	<p>○講師の役割を誰もが出来る状況にはなっていないので、いつも特定の人担当せざるを得ないこと。</p> <p>○当人の代弁者として母親達が内容を考えているが、専門家の助言や確認があると良いと思う。</p> <p>○専門性の高い精神保健福祉ボランティアの研修の機会が減っていることで、新しく精神の分野でボランティア活動を始めの方やすでに活動しているボランティアの意識や質の向上が停滞している。</p> <p>○後継者の育成</p> <p>○リーダーの育成が課題となっている。※</p> <p>○後継者の育成</p> <p>◇労務管理</p> <p>◇専門職の確保</p> <p>◇人材育成</p> <p>◇マネージャークラスの人材不足。</p> <p>◇福祉人財をもう少し充足してもらいたい。</p>

困りごと	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
⑤活動資金	<p>○ガソリンの値上がりで交通費は少ないのではないかと社協さんからいただいておりますが、支援団体への交通費、おもちゃづくりの買い物（近くの文具店が閉店）、子育て推進課からの補助金は交通費には使えない。</p> <p>○何といても資金が足りないことです。ボランティアの数も足りないときもありますが、今のところ人づてにお願いしてボランティアは集まっています。</p> <p>◇法人の独自収入を得ること。</p>
⑥移動手段の確保	<p>○移動手段 車いすユーザーが移動するための福祉車両が必要。確保が難しい。特に複数の場合は困る。</p> <p>○集会場の活動は良いが、郊外に参加する時の移動に不便。 →高齢者が多く手押し車の人がいるために行動が制限されてしまう（90歳以上5名、80歳以上19名、70歳以上11名の年齢構成）。</p> <p>○自分で市民館まで来るのが困難になってきているので、送り迎え（移動手段）が困る。</p>
⑦活動場所の確保	<p>○公園がきれいに整備されすぎていて、もう少し自然が多く残っている環境（傾斜のある地面、草むら、どろの土など）があったらうれしい。</p> <p>○刈谷市には自然が多く残っている公園や環境が少ない。※</p> <p>○集会場での参加者が20名以上の時、会場が狭い。</p> <p>○活動場所の確保が難しい。※</p> <p>○研修資機材の保管場所、倉庫</p>
⑧ICT化の遅れ	<p>◇当団体内のオンライン化</p> <p>◇福祉分野全体に言えることだが、ICT化が進んでおらず、業務連携が効率的ではない。</p>
⑨相談業務の増加、複雑化・多様化	<p>◇相談件数が多く、現有職員での対応には限界がある。</p> <p>◇業務の中でプラン作成の割合が多くを占め、地域活動まで手が回りにくい状況。</p> <p>◇相談業務の増加、複雑化により、他活動が制限されてしまう。</p> <p>◇経済的に余裕のないケース、親族がいても遠方であるケース、8050問題のケース、内容の理解が乏しく同意が得られないようなケース、社会との関わりが薄い独居高齢者などで支援者の介入拒否が強いケース、無理難題を押しつけてくるカスハラケース、サービス内容の変更を頻繁に要求したり、ドクターショッピング、ケアマネショッピングが異常に多いケース、たばこや飲酒などの依存で生活に支障が出ているケースなどがあげられる。</p> <p>◇セルフネグレクトのように支援の介入が困難なケースについて、どのように支援を展開すればよいのか、迷うことがあります。</p>
⑩連携	<p>○特に行政、土業と連携を図っているため、多くのケースは最終的に課題、問題解消につなげている。</p> <p>○お互いの悩みや疑問を話し合えない。</p>

困りごと	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
⑩連携 ～つづき～	<p>◇相談機関同士がつながって協働していくことができるように進めていきたいが、様々な壁が存在している。相談機関の柔軟さが乏しい点などがある。</p> <p>◇医療との連携が上手くいかないことが多い。</p> <p>◇利用者支援を展開する際に、医療・福祉・介護等の関係団体と支援検討会議を行います。意見や見解が異なったときに、支援方針の統一化を図ることに困難さを感じています。</p>
⑪その他	<p>○福祉実践教室の回数のバランスについて。知的障害がなかなか増えないこと。また、こちらの可能回数がはっきりしていない。</p> <p>○この3年間コロナ禍を上手にくぐり抜け、サロンの開催は1回も中止にしたことはないが、子育て支援課の「あいかり」ホームページにしばらくは参加人数を限定5組とし、参加者は電話予約をしていただきました。</p> <p>○令和5年4月からはコロナも収束しつつあるが、まだまだ危ない状態のため、少しコロナも緩和されつつあるので、徐々に、今まで通りの6組以上の参加者があるといいなと思っています。でもこの3年間参加者が0の時は一度もないのでありがたく思っています。</p> <p>○私たちは加入者のみの対応ですから、視野が狭い対応に思う。</p> <p>○防災活動は決まった教科書がない。相談相手がいない。</p> <p>○地区の理解が足りない。※</p> <p>○自主プログラム内容の見直し（マンネリ化、企画力不足）</p> <p>◇市の指定している包括の圏域割が不均等。</p>

(2)地域の課題

問2 普段活動されている中で、どのような地域の課題があるとお考えですか。
(自由回答)

普段、活動する中で感じる地域の課題としては、「地域活動、障害者、外国人に対する理解が不足していること」「子どもの活動場所、高齢者の行き場・集まる場所がないこと」「高齢者の移動手段がないこと」「孤立する人・世帯が増加していること」、これらに多くの意見が寄せられています。とくに、専門機関からは高齢者の移動支援に関する意見が多数寄せられました。

このほかでは、要支援者の支援体制をはじめとした「地域防災」に関わる課題や、ボランティアがいないといった「担い手不足」に関わる課題が比較的多く寄せられました。

また、相談業務等を担う専門機関からは、高齢者の移動支援以外にも、実に様々な福祉ニーズが生じていることを指摘する意見が寄せられています。複雑化・多様化する福祉ニーズの実態をうかがわせています。

地域の課題	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
①理解不足 (理解促進)	<p>○発達障害の知的に遅れのない人について（自閉症の話でも意図的に話していません）、当人や保護者が発達障害の診断を避けていたり、隠していたりする場合もあるかもしれないし、また、単に発達障害という言葉だけが独り歩きをしてかえってクラスで、からかいの対象となるかもしれないと思い、触れずにきています。ただ、知的に遅れがなくても、日常の困りごとや生きづらさは同じで、本当はその特徴を皆が理解して関わりがもてるようになると良いと思っています。学校や地域でどのようにそのあたりを網羅していけば良いのかと模索中です。</p> <p>○土着の人、持ち家で地区に住む人、借家の人、マンションの人、それぞれ経済力が違っていたり、価値観が違っていたりする。それぞれの需要にあわせた供給はほとんど不可能？少なくとも難易度は高い。行政は大変、地域も大変。</p> <p>○地区社協の活動内容がわかりにくい、イメージしにくい。</p> <p>◇障害者の現状の理解不足</p> <p>◇大企業が多い土地柄、企業的価値が地域の中にも暗黙の内に浸透している。それが弱音を見せない、言えない風土をつくり、若者が再挑戦するエネルギーや自己肯定感を奪っているように感じる。多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きていくために、まずは自らを大切に、柔軟性のある考え方をできる機会を大人も子どもも増やしてほしい。</p>

地域の課題	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
①理解不足 (理解促進) ~つづき~	<p>○未だに外国人の児童・生徒は悪いことをすると決めつけている地区の方もいらっしゃいます。ある地区では、外国の子どもも地区の子どもだからと、使用料も免除していただいているところもあります。</p> <p>○これからますます外国人の子どもは増える一方ですし、それなしには日本経済が成り立たないことはわかっていることです。もう少し地区の方の理解がいただきたいです。</p> <p>◇障害者が主体となるような活動を支援していけるような風土をつくっていく。障害者の方の声を聞いて、当事者団体をサポートしていけるようにする。(自立支援協議会に当事者の参加ができるように関係機関が努力していく。一例として。)</p>
②活動場所 (場所の確保)	<p>○開催場所が高浜市寄りの市民館のため、市民センターと間違えられる時もあります。「あひる」ポスターを主だった所 20 か所に掲示をさせてもらっています。市民館をお借りしても有難いですが、時にはお外でブルーシートを敷いて外の空気を思う存分吸って楽しむ事もいいのではと思います。</p> <p>○課題ではないですが、活動場所にて名鉄電車が何回も往来します。このようなサークルは他地域ではないので子どもたちはとっても大喜びです。この電車を見るために準備しているのですが、なかなか遭遇することができていないので、子どもたちもがっかりです。室外であれば、まさしく電車の往来が楽しめるので!! 市民館の隣に大きな空き地あり。</p> <p>○エンゼル広場内のサロンでよく聞かれることですが、雨天時に遊びに出かけるところがない、家の中で遊ぶのは限界を感じる時があるということです。</p> <p>○市民館では遊ぶことはできないので、とても困っているそうです。市民館も時間を決めて自由に遊ぶことができるようになれば、少しは解消されるかも。</p> <p>○活動場所が広すぎるので、小さなサークルで集える場所がほしい。</p> <p>○外国につながる子どもたちは家に帰っても日本語が分からない親御さんで、宿題をみてもらうことはできません。その助けになればと放課後教室を現在市内5カ所で開いていますが、子どもの足で行けるような近い場所に開きたいですが、今のところ一ツ木市民館から北は教室はありません。</p> <p>◇高齢者の行き場、集まる場所 ◇地域の中で包括と関わる（気軽に参加できる）場所づくりが必要だと思う。 ◇市営住宅の応募が多くなかなか入居できない。要支援認定者で入居できる施設が少ない。</p>
③交通手段の確保 (移動支援)	<p>○刈谷市北部（市内でも比較的過疎地域）の高齢者等の買い物難民・移動手段の確保 → 一部、刈谷市とアイシン殿で主体運営されている「チョイソコかりや」の実証実験に賛同、協賛</p>

地域の課題	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
③交通手段の確保 （移動支援）～つづき～	<p>◇高齢者の足の問題（交通手段、ちよいそこがモデルで出来てはいるが、市内だけでなく、近隣の大きな病院まで。）</p> <p>◇高齢者の買い物支援</p> <p>◇免許返納後の高齢者の移動手段がない。高低差のある土地に住む方は特に困っている。</p> <p>◇刈谷市中心部であるが移動手段等がなくひきこもりがちになる高齢者がいる。</p> <p>◇運転免許返納後の高齢者の移動手段（買い物や医療機関への受診）。</p> <p>◇移動手段がない。スーパー、コンビニが少ない。</p> <p>◇医療機関へ行く際の交通手段が少ない。タクシーだと費用が高い。スーパーまで歩いて行けない地域がある。</p>
④孤立する人・世帯の増加	<p>○独居者が増えている。結婚しない人達が高齢者になってきた。</p> <p>◇子育て世帯の孤立化</p> <p>◇世代交流が減ってきている。</p> <p>◇地域社会と関わりがない、関わりを持ちたがらない高齢者がいる。</p> <p>◇地域社会から孤立した世帯がある。</p> <p>◇親族が市外、遠方にいる世帯が多い。</p> <p>◇ケースの支援を行っている、地域で孤立している高齢者も時々存在するため、ご近所さんや地域住民同士の関係が希薄になっていると感じます。</p>
⑤複雑化・多様化する福祉ニーズ	<p>○孤独死、独居高齢者の見守り、高齢者の移動の問題など、様々な地域福祉としての課題がある。※</p> <p>○老人会未加入者と民生委員の対象者以外の人達が多数（半数？）おられる。そうした人達への対応は皆無ではないかと思われる。その人達の対応はどこで？ また予算は？</p> <p>○自治体、民生委員、いきいきクラブ（老人会）との協力がもっと必要。</p> <p>○地域内で相談、交流できる場（ソフト面）づくりができていない、少ない。</p> <p>◇病院受診の付添いのサービスはないかと良く相談されるが、実際介護保険で紹介できるサービスはなく、家族の付添や介護タクシーの利用をすすめる事が殆どである現状。</p> <p>◇刈谷市全体かもしれないが、生活困窮者による相談が多くなっている。</p> <p>◇アパート入居を希望されるが、身元保証人が不在な場合が多く、団体との契約金も支払いが難しい方もいる。国が検討している高齢者の賃貸住宅入居支援制度が国会で通れば、少しは相談者の課題解決につながると思われる。</p> <p>◇ダブルケア等課題が複雑化するケースが多くなっている。</p> <p>◇家族の事情にて他県から引っ越してきた高齢者等連携先が県外など増えている。</p>

地域の課題	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
⑤複雑化・多様化する福祉ニーズ ～つづき～	<p>◇借地に住んでいる方が立ち退きを迫られた時の問題（高齢者を理由に次の行き先が見つからない）。</p> <p>◇身寄りのない独居者、体調不良や立ち退き時の保証人の問題（身元保証団体を利用する場合の金銭的負担、認知症等で判断能力が低下時の本人との契約の有効性）。</p> <p>◇地域にはエレベーターのない3～5階のアパートが多く、比較的安価なので長年住んでいて高齢期を迎えたケースが多い。また、高齢期において部屋が広く、家賃も高く生活のコンパクト化が進んでいないケースが多いと感じる。高齢期の備えと引っ越し等の費用がない問題がある。さらに、65歳以上の独居の高齢者の場合、住み替えの賃貸がほとんど見つからない。アパートの管理会社、オーナーが安心して高齢者に貸すことができる仕組みが必要。また、市営住宅の応募が多くなかなか入居できない。要支援認定者で入居できる施設が少ない。</p>
⑥地域防災	<p>○避難行動要支援者の名簿は自治会（自主防災会）まではおりにきているが、社協には開示されていない。自主防災会と社協がつながっていない。※</p> <p>○役員の自己啓発……防災は起こる災害を想定しなければならないので、いろいろな資料から、過去の災害の実態を知り、創造力を付けたいといけない。</p> <p>○リーダーの発掘……他の地区を見ているとリーダーが変わると活発になるところと低調になるところが顕著である。</p> <p>○非自治会員への対処</p> <p>○要配慮者の支援体制</p> <p>○ICTの活用</p> <p>○防災について、防災組織と地域福祉関係者と自治組織の一体化が図られていない。</p>
⑦担い手不足	<p>○年齢に関係なく、世話役をしない。催し物にお客様で参加する。</p> <p>○地域で行事を企画しても、なかなか協力してもらえない。中心となる人たちだけに負担が大きくなる。</p> <p>○地域の集まりに深くかかると、他のことも任されるのではないかという懸念があると思います。</p> <p>○なぜかボランティアの方は南部の方が多く、北部の方はいません。</p> <p>○対象者の居住地での近隣の地区での保護司の確保。</p> <p>◇ヘルパー等、介護人材の不足。</p> <p>◇ヘルパー事業所が人員不足により撤退している。</p> <p>◇認知症カフェが少なく、拡大していきたくてもボランティアが集まらない。</p>

地域の課題	回答内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関、※印は聞き取り調査による意見
⑧その他	<p>○車いすで移動しやすいように、歩道の整備、建物のバリアフリー化</p> <p>○手帳の判定基準で決められる支援の違いは当然だと思うが、災害時における支援など判定基準だけで線引きしないほうが地域で生活し易いものもある。A判定のみが市役所から災害時に当人の情報を共有して良いかという項目がある、障害や関わり方を記入する書類が送られてきたが、B判定以上でも、当人の情報を共有して欲しい（特に災害時）という保護者も多い。支援によっては手帳の判定基準だけでない視点が必要かと思われる。</p> <p>○愛知県は早期教育にとってもお金をかける家庭が多いのに、小学校の学力テストなどでは全国的にレベルが低い現状です。私達は幼児期にたくさん遊ぶ方が後の学力向上にもつながるのではと考えています。</p> <p>○企業と地域で活動している中で、地域の方々の参加も固定化、特定化、高齢化しており、活性化されていない。</p> <p>○子ども会に加入されている家庭が少ないため、イベントへの参加が少なくなっている。</p> <p>○青少年育成</p> <p>○地域活性化</p> <p>◇社会資源のバラつきがある。行政と民間である程度の合意ができるような資源整備へ向けた計画は必要だと考えます。ニーズ調査に加えて、必要な根拠を考えていけるようなことです。地域の格差を「地域福祉」としてどうとらえていますか。知りたい。</p> <p>◇社会のニーズに対する周知できる情報発信の方法</p> <p>◇子育て世帯の経済的な格差</p> <p>◇家族観の違い：父親の子育て参加率の格差</p> <p>◇高齢出産及び若年出産</p>

(3) 団体等との連携

問3 貴団体では、地域での活動等の際に、どのような団体等と連携して活動されていますか。(複数回答)

現在、連携している団体（連携相手）としては、「社会福祉協議会（25件）」が最も多く、次いで、「自治会（21件）」、「ボランティア団体（20件）」、「NPO法人（19件）」、「公民館（18件）」、「小・中学校、高校、大学（17件）」、「障害者施設（16件）」、「地域包括支援センター（16件）」、「民生委員・児童委員（16件）」などが多くなっています。

連携している団体等	件数	連携している団体等	件数
1 自治会	21	17 PTA	1
2 いきいきクラブ（老人クラブ）	12	18 公民館	18
3 女性の会	6	19 地域包括支援センター	16
4 子ども会	3	20 子育て支援センター	7
5 ボランティア団体	20	21 民生委員・児童委員	16
6 NPO法人	19	22 更生保護団体	4
7 企業	14	23 赤十字奉仕団	7
8 商工会議所	4	24 自主防災組織	7
9 高齢者施設	13	25 警察・消防	12
10 障害者施設	16	26 弁護士・司法書士	5
11 医療施設	13	27 特になし	1
12 社会福祉協議会	25	28 その他 市役所2、保健センター、 ハローワーク等の就労支援機関 サロン活動団体、国際交流協会、 刑事施設、保健所	8
13 地区社会福祉協議会	10		
14 福祉委員会	8		
15 保育園・乳児園・幼稚園	8		
16 小・中学校、高校、大学	17		

・連携している活動内容

⇒ 1～26、28のいずれかに○をつけた方は、具体的な内容を教えてください。選択した番号と連携している活動の内容を記入してください。(自由回答)

連携している活動内容としては、イベント・教室・訓練等への参加・運営協力、招待、協賛、勉強会・講師依頼、就業体験、実習受け入れ、広報活動・情報発信、チラシの配置、場所・機会の提供、車両の貸与など多岐にわたっています。

また、相談業務等を担う専門機関では、個別相談、ケア会議参加・協力、福祉委員会への参加、情報交換・共有、勉強会・研修会に参加、活動のマッチング、施設紹介、交流、見守りなどの活動に多くの団体等と連携して取り組んでいます。

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○サロン「あひる」のときに2階広間の場所の提供 ○チラシ(回覧)配付、場所を借りている ○530運動、見守り ○自治会行事に参画 ○回覧板にて開催の周知、活動場所の提供 ○防災研修で連携している。 ○自主防災会の母体 ○防災訓練に参加していただいている。 ○活動資金を助成いただいている。 ○市民館を使わせていただいています。 ○地域の祭りへの支援 ○地区イベントの参加 児童見守りなど ○市内市民館にて愛の標語の取り付け パトロールに協力。 ◇包括支援センターと地域の人と自主防災訓練 ◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
いきいきクラブ (老人クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ○盆踊り ○防災研修で連携している。 ○防災訓練に参加していただいている。 ◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。 ◇いきいきクラブの一日研修会で予防教室を行う。 ◇いきいきクラブの1日研修で包括支援センターの周知と介護予防教室を実施している ◇いきいきクラブでの研修の企画支援及び講師 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
女性の会	<ul style="list-style-type: none"> ○毎年、年1回、ヘルマンハーブの演奏 ○盆踊り ○防災研修で連携している。 ○防災訓練に参加していただいている。
子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ○一緒にボッチャをする ○子ども会イベントへのバスの貸し出し
ボランティア団体	<ul style="list-style-type: none"> ○一緒にボッチャをする ○イベント時、居場所時に、レクシの実施や傾聴ボランティアには必要な方への傾聴 ○昔の遊びなどを教えてもらっている ◇面接練習

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
ボランティア団体 ～つづき～	<ul style="list-style-type: none"> ○依頼あり ○防災研修で連携している。 ○北部自主防災会協議会で協働 ○防災訓練に参加していただいている。 ○バザー品の提供、イベントお手伝い ◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。 ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。 ◇活動内容に応じて、利用が必要な地域の方へ紹介をしている。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇地域のボランティア団体が主催している「認知症カフェ」の運営に協力している。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
NPO法人	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉車両の借用 ○活動場所、機会の提供 ○防災研修で連携している。 ○防災訓練に参加していただいている。 ○運営の相談をしていただいている。 ○ボラセンを利用させていただいています。 ○小学校ミニコンサートの依頼 ○地区イベントの参加 児童見守りなど ◇講師依頼などの交流 ◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。 ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。 ◇活動内容に応じて、利用が必要な地域の方へ紹介をしている。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇フードロス削減活動のフードドライブのNPOいこまい刈谷が、集めた食材について、高齢者の一時的な食の困窮者へ渡し、消費してもらえるよう支援している。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
企業	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント等の協力、助成金 ○防災研修で連携している。 ○防災訓練に参加していただいている。 ○災害時のボランティア派遣をお願いしている。

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
企業 ～つづき～	<p>○外国人の参加者に来ていただいている。</p> <p>○トヨタグループ企業との協業</p> <p>◇講師や助成金 寄付</p> <p>◇就職者の定着支援、障害者雇用支援、就労トレーニング実習先、障害者雇用、勉強会等の開催、企業見学、交流企画、イベントの参加、農業体験</p> <p>◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。</p> <p>◇三河バイフットボールクラブ株式会社(FC刈谷)の地域貢献活動を地域の団体とマッチングしている。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。</p>
商工会議所	<p>◇商工会会員、講座の受講(社会人マナー研修、マネージャー研修など)、健康診断受診</p> <p>◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。</p>
高齢者施設	<p>○防災訓練に参加していただいている。</p> <p>○施設慰問やイベントへの招待</p> <p>○トヨタ車体ふれ愛パークを活用した農業イベントへの参画</p> <p>◇就労トレーニング実習先</p> <p>◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。</p> <p>◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。</p> <p>◇利用希望のある方へ紹介し、利用につなげている。</p> <p>◇高齢者の入所支援</p> <p>◇情報交換、共有。勉強会に参加。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。</p>
障害者施設	<p>○場所の提供</p> <p>○防災訓練に参加していただいている。</p> <p>○施設慰問やイベントへの招待</p> <p>○トヨタ車体ふれ愛パークを活用した農業イベントへの参画</p> <p>○地区イベントの参加 児童見守りなど</p> <p>◇就労トレーニング実習先</p> <p>◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。</p> <p>◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。</p>

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
障害者施設 ~つづき~	<p>◇障害を持っている方の就労支援や支援している家族が利用している場合などに連携を図っている。</p> <p>◇情報交換、共有。勉強会に参加。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。</p>
医療施設	<p>○チラシを置かせてもらっている(メンバーの職場)</p> <p>○委員・団員が組織に加入</p> <p>○献血活動</p> <p>◇就労支援説明会の開催</p> <p>◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。</p> <p>◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。</p> <p>◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。</p> <p>◇入院されている方が地域に戻る場合に医療機関から連絡があったり、担当利用者の方の連携、交流会を通じて顔の見える関係を構築している。</p> <p>◇高齢者の退院時の支援</p> <p>◇情報交換、共有。勉強会に参加。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。</p>
社会福祉協議会	<p>○福祉実践教室、出張ポッチャ等</p> <p>○社会福祉協議会の総務課の方、年1回楽しい遊びの提供</p> <p>○協賛している。</p> <p>○防災研修で連携している。</p> <p>○北部自主防災会協議会で協働</p> <p>○防災訓練に参加していただいている。</p> <p>○活動資金を助成いただいている。</p> <p>○イベントの紹介、情報提供</p> <p>○トヨタ車体ふれ愛パークを活用した農業イベントへの参画</p> <p>○地区イベントの参加 児童見守りなど</p> <p>○協賛金をいただいています。</p> <p>◇部会参加</p> <p>◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。</p> <p>◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。</p>

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
社会福祉協議会 ~つづき~	<ul style="list-style-type: none"> ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。 ◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。 ◇福祉委員会に参加する。 ◇福祉サービスの活用・補助金の利用および相談。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
地区社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○防災研修で連携している。 ○防災訓練に参加していただいている。 ○災害時のニーズの発信に対して支援をお願いしている。 ◇ハートの会の研修会の実施。各サロンの後方支援。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
福祉委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域にて協賛。 ○防災訓練に参加していただいている。 ◇福祉委員会に参加する。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。
保育園・乳児園・幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ○依頼有り ○防災研修で連携している。 ○防災訓練に参加していただいている。 ○施設整備 ○トヨタ車体ふれ愛パークを活用した農業イベントへの参画 ○幼稚園標語掲示、子育ての父兄と懇談会 ◇情報共有 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。
小・中学校、高校、大学	<ul style="list-style-type: none"> ○防災研修で連携している。 ○避難所訓練で協働 ○防災訓練に参加していただいている。 ○災害時のボランティア派遣をお願いしている。 ○日本人及び外国人の参加者に来ていただいている。 ○市内小・中学校で取り出し授業を行っています。 ○工場見学、環境教育 ○トヨタ車体ふれ愛パークを活用した農業イベントへの参画 ○小学生の工場見学、中学生職場体験学習の受け入れ ○地区イベントの参加 児童見守りなど ○犯罪予防情報交換 ○小中学校へ手作り雑巾の配付、標語掲示 ◇利用者様支援の連携、進路勉強会等の講師、愛教大ネーミングライツ、実習生の受け入れ

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
小・中学校、高校、大学 ～つづき～	◇講師依頼や当団体内のオブザーブ ◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。 ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。 ◇認知症サポーター養成講座(福祉実践教室)の講師、社会福祉士等の実習生受け入れ
PTA	◇勉強会講師など
公民館	○チラシ(回覧)配付、場所を借りている ○盆踊り ○回覧板にて開催の周知、活動場所の提供 ○防災研修で連携している。 ○自主防災会の母体 ○防災訓練に参加していただいている。 ○公民館行事への支援 ○地区イベントの参加 児童見守りなど ◇活動での施設利用 ◇福祉委員会に参加する。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
地域包括支援センター	○ひまわり研修で講師していただいている。 ○茶話会で講師していただいている。 ○講師をしていただく。 ○職員の方が高齢者サロンにて参加者と交流、FC刈谷のスタッフを紹介してくれて参加者との交流がある。 ○防災研修で連携している。 ○防災訓練に参加していただいている。 ◇登録者様支援の連携 ◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。 ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。 ◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。 ◇連絡会(定期)にてケース等の情報の共有、研修会を共催で実施など、日ごろから連携している。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の子育てコンシェルジュ通信をスタッフに郵送 ○不安のある親を注視してもらう(メンバーが働いているため) ○巡回子育て相談に来ていただいている。 ◇情報共有 運営 ◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。 ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。
民生委員・児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ○数名の民生委員・児童委員がメンバーとして活動している。 ○情報確認の実態 ○全部、民生委員が担っている。 ○スタッフとして活動に参加している。 ○防災研修で連携している。 ○委員・団員が組織に加入 ○防災訓練に参加していただいている。 ○避難行動要支援者の支援を一緒に行っている。 ◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。 ◇地域ケア会議を開催し、地域課題出しをする。 ◇地域ケア会議で民生委員に勉強会をする。 ◇地域住民のことで相談または安否確認(同行訪問)してもらっている。また、福祉サービスの手続きの際に、ひとり暮らし高齢者の証明のサインをもらっている。民生委員向けの研修会も実施。 ◇地域住民の困りごとなどの情報提供・共有、同行訪問。 ◇情報交換、共有。勉強会に参加。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
更生保護団体	<ul style="list-style-type: none"> ○更生保護女性会 協力雇用主会犯罪予防活動等の実施 ◇相談支援事業所のつながりや当センターのある地元の機関とのつながり、イベントを通してのつながり等がある。福祉教育の啓発等は随時行っている。
赤十字奉仕団	<ul style="list-style-type: none"> ○私が団員ということもあり、子どもの看病、病気等をお話しすることがある。 ○防災研修で連携している。 ○北部自主防災会協議会で協働 ○委員・団員が組織に加入 ○防災訓練に参加していただいている。 ○地区の防災イベントで、救急法、幼児安全法(AEDを使用した一時救命措置)の講師をしていただいている。

連携している団体等 (連携相手)	連携している内容 ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
赤十字奉仕団 ~つづき~	◇講師
自主防災組織	○防災研修で連携している。 ○北部自主防災会協議会で協働 ○防災訓練に参加していただいている。 ○防災訓練への支援 ◇包括支援センターと地域の人と自主防災訓練
警察・消防	○AED、応急手当普及員研修で連携している。 ○合同パトロール ○犯罪予防活動(啓発等) ◇施設見学 ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。 ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
弁護士・司法書士	◇愛知県弁護士会との連携(事例検討会、個別相談等) ◇虐待ケースや支援困難事例の支援方針を検討するにあたり、関係者から聞き取りを行ったり、支援会議に参加してもらったりしている。
その他 市： 市： 保健センター： 国際交流協会： 保健所： ハローワーク等就労支援機関： サロン活動団体：	○子育て支援課にて「あいかり」ホームページ等に年間行事の掲載 ○運営の相談、補助をしていただいている。 ○不安のある親を注視してもらう(メンバーが働いているため) ○国際交流協会でどんなところに外国籍の子どもがいるか、またどんな支援が必要か情報をいただいています。 ○薬物撲滅活動 ◇相談のケースを共有し、それぞれの専門性を活かして当事者の支援をしている。 ◇サロン立ち上げの支援、継続支援等
(連携相手不明)	○各組織の目的を取りまとめ、再犯防止、犯罪抑止を行うが、対象者の数だけ事象があるので、具体的に示すのはここでは難しい。 ◇地域ケア会議 介護予防教室 ケースの相談、協力 勉強会の講師

(4) 今後、連携したい団体等とその活動

問4 今後、貴団体では、地域での活動等の際に、どのような団体等と連携して、どのような活動をしたいと考えていますか。また、連携しようとする上で困っていることはどのようなことですか。(自由回答)

これから連携したい組織や団体について回答は多くはありませんでしたが、「自治会（4件）」、「企業（4件）」、「商工会議所（3件）」、「ボランティア団体（3件）」、「福祉委員会（3件）」、「警察・消防（3件）」などとなっています。

このほか、組織・団体等は特定しないものの、多分野・他分野の団体等との連携がしたい旨の意見は多く寄せられました。

連携したい団体等	件数	連携したい団体等	件数
1 自治会	4(1)	17 PTA	1(0)
2 いきいきクラブ（老人クラブ）	0(0)	18 公民館	1(1)
3 女性の会	0(0)	19 地域包括支援センター	0(0)
4 子ども会	1(1)	20 子育て支援センター	0(0)
5 ボランティア団体	3(3)	21 民生委員・児童委員	2(0)
6 NPO法人	1(1)	22 更生保護団体	0(0)
7 企業	4(1)	23 赤十字奉仕団	2(2)
8 商工会議所	3(0)	24 自主防災組織	0(0)
9 高齢者施設	0(0)	25 警察・消防	3(1)
10 障害者施設	0(0)	26 弁護士・司法書士	0(0)
11 医療施設	0(0)	27 特になし	3(0)
12 社会福祉協議会	0(0)	28 その他 JR・名鉄、JA	2(0)
13 地区社会福祉協議会	1(1)		
14 福祉委員会	3(1)	※ () 内数字は現在連携しているが、今後さらに連携したいと回答があったもので、内数。	
15 保育園・乳児園・幼稚園	0(0)		
16 小・中学校、高校、大学	0(0)		
(相手先を特定していない意見) ・分野を超えた機関 ・地域の異世代の人、専門的な窓口との連携 ・必要な関係機関と連絡・調整 ・他市町ボランティア団体 ・〇を付けていない団体全て ・多分野の方と連携 ・他分野と連携 ・全ての団体			

今後、連携して取り組んでみたい活動としては、地域への意識啓発、理解を深めていくこと、イベント・勉強会などの意見が多く、また、活動の幅を広げていくことや役割分担していくために協働して取り組んでいきたいとの意見もあげられています。

相談業務等を担う関係機関からは、専門的な相談窓口との連携、社会資源の整理、福祉委員会の整備、センターの周知などの意見が寄せられています。

連携する上で困っていることとしては、連携のきっかけ・機会がないという意見が複数あるほか、連携先の意識・体制がわからないという意見があります。このほか、共通の意識・認識をもつことができること、また、個人情報の保護・守秘義務等が遵守できることといった意見もみられます。

連携したい団体等 (連携相手)	今後取り組みたい活動 連携する上で困っていること ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
1) 今後取り組みたい活動	
自治会	<p>○地域への啓発活動…福祉実践教室と同じように、町内会の世話役の方や民生委員の方、学校の子どもだけでなく保護者の方、その他一般の市民の方への活動が定期的に行えると良いと思っています。市や社協と連携しながらそういう機会を増やしていければと思っています。</p> <p>○自治会、公民館と回覧や場所提供してもらっただけでなく、地域で子育てに手厚く見守っていききたい。</p> <p>◇商工会、自治会、企業など、あらゆる分野の方々と連携し、若者達の力を活かせる場を一緒に探していききたい。その際、「何かをしてあげたい」という上から目線になってしまうと、逆効果なので、共に地域をつくる仲間としての共通意識がほしい。</p> <p>◇自治の活動内容を把握し、協働出来る部分(災害時の個別支援計画等)があれば。</p>
子ども会	<p>○障害者スポーツ、ボッチャの普及を通して、障がい者への理解、福祉への理解を深めたい。</p>
ボランティア団体	<p>○障害者スポーツ、ボッチャの普及を通して、障がい者への理解、福祉への理解を深めたい。</p> <p>○他市町のボランティア団体との連携(防災分野)</p> <p>◇地域の方々に認知症カフェを広げていききたい。ボランティア不足の解消と活動資金の確保ができるよう、関係団体があればつながっていききたい。</p>
NPO法人	<p>◇高齢分野だけでなく、障害やひきこもりなど他分野にもこの活動を広げていききたい。支援・介入のきっかけになるとよい。</p>
企業	<p>○企業との連携(防災分野)</p> <p>○自主防災会への加入と協働</p> <p>◇商工会、自治会、企業など、あらゆる分野の方々と連携し、若者達の力を活かせる場を一緒に探していききたい。その際、「何かをしてあげたい」という上から目線になってしまうと、逆効果なので、共に地域をつくる仲間としての共通意識がほしい。</p>
商工会議所	<p>◇商工会、自治会、企業など、あらゆる分野の方々と連携し、若者達の力を活かせる場を一緒に探していききたい。その際、「何かをしてあげたい」という上から目線になってしまうと、逆効果なので、共に地域をつくる仲間としての共通意識がほしい。</p>

連携したい団体等 (連携相手)	今後取り組みたい活動 連携する上で困っていること ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
商工会議所 ~つづき~	◇地域の認知症高齢者を支える体制整備が出来るように共に取組を行いたい。
地区社会福祉協議会	◇社会資源の整理及び必要な資源の構築。福祉委員会の整備等。
福祉委員会	○役割分担したい(いきいきクラブ)。 ○避難行動要支援者支援
PTA	○地域への啓発活動…福祉実践教室と同じように、町内会の世話役の方や民生委員の方、学校の子どもだけでなく保護者の方、その他一般の市民の方への活動が定期的に行えると良いと思っています。市や社協と連携しながらそういう機会を増やしていければと思っています。
公民館	○自治会、公民館と回覧や場所提供してもらっただけでなく、地域で子育てに手厚く見守っていききたい。
民生委員・児童委員	○地域への啓発活動…福祉実践教室と同じように、町内会の世話役の方や民生委員の方、学校の子どもだけでなく保護者の方、その他一般の市民の方への活動が定期的に行えると良いと思っています。市や社協と連携しながらそういう機会を増やしていければと思っています。 ○高齢者等の声かけに協力できたらと。
赤十字奉仕団	○刈谷市赤十字奉仕団とコラボで「自分の住む地域は自分たちで守る」をテーマに、自主防災会活動の活性化と地区委員(組長)個人のスキルアップのため、毎年防災体験訓練を実施する。 ○本年より協力活動を始めた。災害時等に地域で簡単な応急措置を目的。
警察・消防	○警察の方との勉強会…知的障害の人達の特徴や関わり方を少しでも知ってもらう事で、不要なトラブルは避けられると思う。 ○安全・安心を目的としたパトロール活動
その他 JR、名鉄電車： JA：	○JR、名鉄電車の駅員さんとの勉強会 ○愛好会と協働したい。
相手先を特定していない意見 (連携相手記載なし)	○核家族が多く、おばあちゃん・おじいちゃんとの同居の家庭が最近少ないため、「あひる」の開催日に、近くのおじいちゃん・おばあちゃん等が気軽に参加していただいて、一緒に遊んでいただける機会があったらと思います。 ○災害時には全ての団体に支援をお願いしたい。 ○現プログラムと行事の支援を継続することが大切。 ○地域の真の困りごとに寄り添う活動 ◇育児と介護のダブルケアや育児能力と就労支援などの専門的な相談窓口との連携 ◇分野を超えた様々な機関との連携 ◇連携のきっかけづくり

連携したい団体等 (連携相手)	今後取り組みたい活動 連携する上で困っていること ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
相手先を特定していない意見 (連携相手記載なし) ～つづき～	<p>◇地域の活動、インフォーマルな社会資源を期待しているので刈谷市内の自治区の活動を知り、何らかのつながりができたら良いと思います。現状では当所が地域の方々に認識されていることは少ないと考えます。防災についてなど障害者の戸別の避難計画などは課題になっていると思います。(暮らしの安全についても)</p> <p>◇現状の活動の継続とボトムアップ</p> <p>◇ケースを通して必要な関係機関と連絡調整・協議しネットワーク構築</p> <p>◇様々な地域の団体や企業と連携をして、高齢者が集える場所の確保、研修やイベントを運営する人材等の協力体制を整備できるとよい。</p> <p>◇基幹型包括は、地域型包括支援センターのバックアップを行う組織になるため、各地域型の包括支援センターがスムーズに業務を展開できるように、今後も、医療や福祉、地域住民団体と連携していきたいです。</p>
2) 連携する上で困っていること	
子ども会 ボランティア団体	○自分たちの活動をアピールする場がない。また、あっても上手く活用できていない。
企業 商工会議所	○今後この活動を続けていくためには活動資金がありません。ますます外国の子どもの数が増え続けることは予想されることです。外国人の恩恵を受けていらっしゃる企業又は商工会議所と連携できたらと考えています。
福祉委員会	◇社会福祉協議会の福祉委員会と地域包括支援センターの地域ケア会議の内容が、地域課題で同じことを同じメンバーで出し合っているの、どのように一緒にまとめられるか、共有できるのか？
警察・消防	<p>○警察の方との勉強会…どのように話を進めていけば良いのかわからない。</p> <p>○消防……水防等について体制が分からない。自主防災会との位置づけが分からない。</p>
相手先を特定していない意見 (連携相手記載なし)	<p>○市民館が辺鄙な場所のため、近くの方は参加可能だが、遠くの方は距離的に難しい。</p> <p>○地域の異世代の人と交流できたらと思ってコラボで活動した際、相手は手助けしたということでお礼として草むしりの手伝いなどを求めてくることがあり、少し大変だったことがありました。私達も多くの謝礼はお支払いできないので、それもしようがないかと思いましたが、できれば子どもや若い人たちと遊ぶこと自体を楽しんでくれるような元気な高齢者と出会えれば良いなと思っています。</p> <p>○他部署との連携などをつなげてくれるコーディネートの役割が必要になってくると考えます。</p> <p>○今の活動では「井の中の蛙」となってしまう(移動手段が困難なため)。そのためには交通手段を考えてほしい。</p> <p>○連絡網の整備と共有化が必要と思われる。(防災分野)</p>

連携したい団体等 (連携相手)	今後取り組みたい活動 連携する上で困っていること ○=団体(専門機関以外)、◇=専門機関
相手先を特定していない意見 (連携相手記載なし) ~つづき~	<ul style="list-style-type: none"> ○企業内で担当者が変わる場合の引き継ぎも大切。 ○刈谷市が再犯防止推進計画の策定を開始してほしい。これが現状唯一の困った点。 ◇子育ての相談内容が毎年、複雑になってきています。 ◇子育て支援でも地域性があり、その地域に合わせた支援が必要であると考えます。 ◇連携に関して、個人情報の保護・守秘義務等の知識を連携する団体等が遵守していること。 ◇当所が連携できていないのは、他団体もつながる機会がないということでしょうか。必要な時につながる準備は行っていきたい。 ◇相手の団体が当事業所との連携の必要性をどこまで考えているか不明? 実際に連携するとなると多くの時間を要するため、他の業務との兼合いで調整が難しい。商工会議所に関しては市全体での取組のため、主導する人の選任も難しい。 ◇生活支援体制整備事業において生活支援コーディネーターが配置されており、当センターも委託を受けている。まだまだコーディネーターの認知度が低く、認知してもらう必要がある。 ◇当センターの周知不足。当事者以外の高齢者や若い世代に知られていない。 ◇センター業務外の相談(ご近習・家族間のトラブル、若い世代の諸問題等)増加しているが、つなげられる先が見当たらない。 ◇課題解決のためには、連携が必要と思われる機関や団体にこちらから声をかけても、先方にその意思がなく、うまく支援チームが構築できないときには、連携する困難さを感じます。(高齢者分野と障害者分野の連携、医療と介護の連携は、特に課題を感じています。)

(5)生活課題を抱えた人との関わり

問5 団体での活動で、以下の様な人と関わったことがありますか。(複数回答)

以下のような生活課題を抱えた人と関わったことがあるかどうかについてたずねたところ、「支援が必要な障害のある人（19件）」、「支援が必要な単身高齢者（13件）」、「認知症の人（12件）」、「ひきこもり（11件）」、「老老介護・認認介護（11件）」などとなり、生活課題を抱える人と関わっている団体が多いことがわかります。

「関わったことはない（6件）」または「無回答（4件）」は計10件で、何らかの生活課題を抱える人と関わっている団体は約7割（35団体中25団体）となります。

特に相談業務等を行っている専門機関では、これら生活課題を抱える人と関わる機会が多く、問題が複雑化しているようすがうかがえます。

生活課題を抱えた人との関わり	件数	生活課題を抱えた人との関わり	件数
1 ひきこもり	11	10 生活困窮者・家庭	10
2 ニート	9	11 子どもの貧困	8
3 8050問題	10	12 高齢者や障害のある人への虐待	8
4 認知症の人	12	13 子どもへの虐待	6
5 支援が必要な単身高齢者	13	14 DV	9
6 支援が必要な障害のある人	19	15 関わったことはない	6
7 ヤングケアラー	4	16 その他（罪を犯した者）	1
8 ダブルケア	9	無回答	4
9 老老介護・認認介護	11		

⇒1～14、16のいずれかに○をつけた方は、具体的にどのような関わり、支援内容を教えてください。選択した番号と連携している活動の内容を記入してください。(自由回答)

支援内容としては、情報提供、状況確認を行うことに加え、相談を受ける、必要な機関や他団体へ紹介する、居場所を紹介するなど、問題解決に向けた取組が行われています。

生活課題を抱えた人・世帯	具体的な関わり、支援内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
ひきこもり	<p>○必要な機関や他団体へ紹介もしている。</p> <p>○保護観察中の対象者として</p> <p>◇利用者様、登録者様の支援。</p> <p>◇相談を受けている。本人のみ、家族のみの場合もある。個別対応、他機関と合同で相談あり。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したり、つなげている。</p> <p>◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
ニート	<p>○必要な機関や他団体へ紹介もしている。</p> <p>◇利用者様、登録者様の支援。</p> <p>◇相談を受けている。本人のみ、家族のみの場合もある。個別対応、他機関と合同で相談あり。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
8050問題	<p>○必要な機関や他団体へ紹介もしている。</p> <p>◇相談を受けている。本人のみ、家族のみの場合もある。個別対応、他機関と合同で相談あり。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。</p> <p>◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。</p> <p>◇支援をしている高齢者のお宅に収入のない子が同居。本人への介入は難しく、往診医の紹介も行うが当の高齢者もあきらめてしまっているのか、介入を強く望まない。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p>

生活課題を抱えた人・世帯	具体的な関わり、支援内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
8050問題 ~つづき~	◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。
認知症の人	<p>○防災研修への参加及びアドバイスを頂いた。</p> <p>○防災訓練への参加依頼。避難行動要支援者の見守り、災害時の支援。</p> <p>◇相談を受けている。本人のみ、家族のみの場合もある。個別対応、他機関と合同で相談あり。若年性認知症の方は就労されていることもあり、障害と介護も連携している。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。</p> <p>◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。</p> <p>◇独居でアルツハイマー型認知症の診断が下りている方について、希望する自宅での生活を送るため、可能な限りサービスなど提案するが、独居での生活継続が難しく、施設入所を余儀なくされるケースがある。</p> <p>◇適切な機関や支援につなげている。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇高齢者の総合相談を受け付けており、認知症の人の介護等の相談に応じている。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
支援が必要な単身高齢者	<p>○防災研修への参加及びアドバイスを頂いた。</p> <p>○避難行動要支援者支援計画策定をしている。</p> <p>○防災訓練への参加依頼。避難行動要支援者の見守り、災害時の支援。</p> <p>○民生委員による日常の会話、困りごとなどの情報収集</p> <p>◇相談を受けている。本人のみ、家族のみの場合もある。個別対応、他機関と合同で相談あり。</p> <p>◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。</p> <p>◇適切な機関や支援につなげている。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
支援が必要な障害のある人	<p>○障がい者が外に出て楽しめる場所、活動できる場をつくる。</p> <p>○必要な機関や他団体へ紹介もしている。</p>

生活課題を抱えた人・世帯	具体的な関わり、支援内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
支援が必要な障害のある人 ～つづき～	<ul style="list-style-type: none"> ○防災研修への参加及びアドバイスを頂いた。 ○避難行動要支援者支援計画策定をしている。 ○防災訓練への参加依頼。避難行動要支援者の見守り、災害時の支援。 ○民生委員による日常の会話、困りごとなどの情報収集 ○運動の場の提供、就職のための面談 ◇利用者様、登録者様の支援。 ◇相談を受けている。本人のみ、家族のみの場合もある。個別対応、他機関と合同で相談あり。 ◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。 ◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。 ◇適切な機関や支援につなげている。 ◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担 ◇聴覚障害の方に対し、ケアマネや事業所などと連携し、筆談で対応したり何度も訪問したりしている。 ◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。 ◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。
ヤングケアラー	<ul style="list-style-type: none"> ◇当事者からの相談であれば行政への相談も含めて関わっています。 ◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。 ◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。 ◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。
ダブルケア	<ul style="list-style-type: none"> ◇相談を受ける。 ◇当事者からの相談であれば行政への相談も含めて関わっています。 ◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。 ◇高齢分野の支援を行い、子育て等は情報提供を行うのみとなっている。 ◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担 ◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。 ◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。

生活課題を抱えた人・世帯	具体的な関わり、支援内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
ダブルケア ～つづき～	<p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
老老介護・認認介護	<p>○包括支援センターの声かけ</p> <p>○防災訓練への参加依頼。避難行動要支援者の見守り、災害時の支援。</p> <p>◇当事者からの相談であれば行政への相談も含めて関わっています。</p> <p>◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。</p> <p>◇適切な機関や支援につなげている。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
生活困窮者・家庭	<p>◇利用者様、登録者様の支援。</p> <p>◇当事者からの相談であれば行政への相談も含めて関わっています。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。</p> <p>◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。</p> <p>◇困窮状況によって社会福祉協議会や法テラスへの相談、医療機関や身元保証団体等、必要と思われる全ての機関へ相談しても解決に至らないケースもある。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇退職を機に収入源を絶たれてしまい、年金も少なく今後の生活が困窮するケース(障害の認定はないが理解力が乏しい方)の生活の立て直しと生活保護の申請支援を行った。</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
子どもの貧困	<p>○子ども食堂への社内イベントを活用したフードドライブによる食品、使用済ランドセルの提供。</p> <p>◇情報を持っている。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。</p>

生活課題を抱えた人・世帯	具体的な関わり、支援内容 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
子どもの貧困 ～つづき～	<p>◇当事者からの相談であれば行政への相談も含めて関わっています。</p> <p>◇刈谷市の高齢者虐待マニュアルに準じて対応。</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p>
高齢者や障害のある人への虐待	<p>◇利用者様、登録者様の支援。</p> <p>◇窓口と共同することもあります。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇高齢者の虐待通報窓口の一つとなっており、通報があれば解消に向けた支援をしている。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
子どもへの虐待	<p>○本人は虐待でないと思っているが、感情を抑えきれず子どもをたたいてしまう(姑・夫との関係で腹いせ)。</p> <p>○保護観察中の対象者として</p> <p>◇利用者様、登録者様の支援。</p> <p>◇相談を受ける</p> <p>◇窓口と共同することもあります。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したりつなげたりしている。</p>
DV	<p>◇相談を受ける</p> <p>◇窓口と共同することもあります。</p> <p>◇相談を受けている。家庭全体の支援の必要性があるため、重層的に各関係機関と連携し、適宜、同行したり、つなげている。</p> <p>◇包括支援センターとして総合相談窓口で整えながら関係機関につなげる。</p> <p>◇居場所の紹介、専門の相談先の紹介・つなぎ、関係機関との連携・役割分担</p> <p>◇認知症の夫が介護者である妻へ暴力を振るうケースにて、定期訪問による状況確認、医療や福祉サービスの情報提供及び調整の支援を行っている。</p> <p>◇日々の相談業務の内容。それぞれにその時点で最良と思われる支援を、関係者で相談、検討、対応している。</p> <p>◇虐待ケースや支援困難事例の対象者やその家族が、上記に該当することがある。</p>
その他 罪を犯した者：	<p>○再犯をしない環境を目指すため、ありとあらゆる支援を行ってきた。就労支援から反社会的勢力との交渉など多岐にわたる。</p>

(6)重層的支援に必要な取組

問6 ヤングケアラーや子どもの貧困等、子ども・障害・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような“地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ”に包括的に対応する『重層的支援体制の整備』が求められています。貴団体では、重層的支援としてどのような方を対象に、どのような取組が必要だとお考えですか。(自由回答)

重層的支援に必要な取組としては、相談業務等を担う専門機関を中心に、包括的相談支援（総合窓口／ワンストップの開設）、多機関協働（関係機関との調整・合意形成、ネットワーク強化と役割分担、各ケースに寄り添える体制整備）、アウトリーチ活動によるニーズの掘り起こしなどの意見が寄せられています。専門機関以外の団体では、支え合いの地域づくり、地域側の体制づくりに関わる意見がみられます。

このほか、重層的支援体制の整備に向けた事例研究、方向性の検討についての意見も寄せられています。

取組	重層的支援に必要な取組 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
包括的相談支援 （総合窓口の設置）	<ul style="list-style-type: none"> ○多方面からの悩みを受け止める場所（専門の方） ◇総合窓口の設置 地域での一次的な相談窓口の設置。そこから広がる支援体制を強化。 ◇社会資源を熟知した専門員（社会福祉士等）が常駐するワンストップの窓口の開設。年齢などで区分しない、すべての人を対象とした窓口。「誰でも、何でも」 ◇本当に支援を必要としている人ほど、ヘルプを言い出しにくく、支援が必要との自覚すらないし、複雑すぎて何が問題かもわからない。相談を通して、必要とされるそれぞれの専門機関につなげていく。
多機関協働	<ul style="list-style-type: none"> ◇複雑化する課題については適切に多機関協働事業につなぐ。 ◇重層的支援に関しては、上記全ての方に対して対応ができるチームの設立。対象者によってどの専門職が集まって話をするのが望ましいか、そこから検討出来る体制づくりが必要と考える。 ◇年々、家族全体の支援、多世代支援が増加。役割分担し支援・情報共有を図っているがそれぞれの立場や業務上の役割もあり、解決しないこと、解決までに時間がかかることがある。また重複した問題や課題になっていることもある。 ◇支援者が問題解決に向けて一緒に動ける・支援できる体制づくりが必要。 ◇相談先がはっきりしないケースも多いため、重層的支援体制は有用と考える。

取組	重層的支援に必要な取組 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
多機関協働 ～つづき～	◇他分野の知識についてまだまだ不十分と感じながらも、高齢者の総合相談窓口として、ワンストップ窓口を心がけ、相談者に「たらいまわし」と感じさせないように、必要時、他分野にしっかりつなげる、しっかり連携することを意識している。また、分野の垣根を越えた重層的な支援を意識して業務にあたっている。
支え合いの地域づくり	<p>○関係性ができるコミュニティづくり（町内での活動にも参加しない、顔を合わせてあいさつすら出来ないのが現状。個人情報だといわれれば何も手出しが出来ない。正直、どのように支援し応援できるか悩んでいる。）</p> <p>○私たちの活動は地域の気軽な交流の場の提供なので、特に福祉を必要とする参加者は見受けられないが、活動を続けていくなかで、必要を感じたときには支援の“初めの一歩”となるような場になればと思っている。そのためにも、各支援センター、社協の職員の方と連携していけたらと思う。</p> <p>○桜区福祉協議会が中心となり活動することが必要と思われる。ただ、地区の活動だけでは限界があり、全市をあげた活動が必要と思われる。</p> <p>○生活課題を抱えたまま孤立している人が地域にいない状態を目指した取組 →高齢・障害、子どもの支援を行う専門家との連携、地域で困りごとを抱えた人に気づける「つながり」と、つながりの中で困りごとが発見された場合に、専門家へつなげられる支援体制の整備が必要だと思います。</p> <p>○生活困窮者への気づきとその後の対応（支援）</p> <p>○現在ふれ愛パークで実施している福祉フェスへ ：上記分野の方・地域・企業で交流できる場づくりを継続して実施していくこと。</p> <p>◇スポーツの分野では障害者とパートナー（健常者）が共にチームとして参加する取組がある為、今後地域レベルとして同様の活動が出来る取組。</p> <p>◇専門職ばかりではなく、時には民間の企業や商工会、地域住民も参加しながら各ケースに寄り添える体制整備が必要だと思います。</p>
体制整備に向けた調査研究 事例研究 方向性の検討	<p>◇転々と相談窓口が定まらない方が回されてくることがある。相談窓口への不信感が募っていたり、敵意を持っていたりすることもある。可能な限り話を聞いて、本人の了解を得て関係機関の壁をとり、相談にあたっていく合意が得られていかなければ、事業だけが機能するのは難しいと思います。事例を学び合って行けたらと思います。</p> <p>◇刈谷市を中心として、各関係機関がどのような役割でどのように対応するか、または新しい機関を作っていくのかなど、整理して方向性を示していけるとよい。</p>

取組	重層的支援に必要な取組 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
体制整備に向けた調査研究 事例研究 方向性の検討 ～つづき～	◇将来的には包括的に対応できる機関があることが理想ではあるが、まずは高齢者を主としながら、その家族や地域の課題にアプローチをしていく。その中で子ども、障害、生活困窮に関わるケースに関しては、それらの関係機関とのネットワークの強化が必要と考える。既存する各機関が分野を超えて基本的な相談対応（アセスメント、ニーズの確認、スクリーニングなど）ができ、より詳細な相談や支援については、専門機関へつなげられるとよい。
その他	○他団体のことを知ることで、支援できる可能性が広がると思う。 ○ベーシックインカム的な方法はよいのかなと思います。障害などには不足かもしれませんが、少なくとも貧困はなくなるのかなど。 ○具体例を知らない。高齢者の「クラブ会員の福祉」しか考えていない。 ○ボランティアではできない。専門的かつ献身的。報酬が必要でないか。 ○支援の依頼があったときに取り組みたいと思います。 ○子どもを対象にして安全なまちづくり、教育に取り組む。 ◇現状把握 ◇アウトリーチ活動にてつながらない方の掘り起こし。 ◇保護にならない低所得者、収入はあるが様々な依存症で経済的に困窮している。 ◇療育手帳C程度の様な一般就労できているが、親の金銭管理等で生活が成り立っている人の親の死後の支援 ◇食育を通じて多世代が交流できる居場所づくり

(7)自由意見

問7 貴団体の考える地域福祉のあり方や、地域福祉を推進するための具体的な取組・手段、市や社会福祉協議会へのご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。(自由回答)

地域福祉の推進に関して、自らの団体の活動を周知していくこと・知ってもらうこと、地域で行われている様々な情報の共有、人と人との交流を盛んにしていくこと、学びあいなどの意見が寄せられています。

また、市や社会福祉協議会との関係性の強化（話し合いを密にすること）、地域との信頼関係の構築、分野を超えた関係機関や地域での活動団体とのネットワークの強化などの意見が寄せられています。

キーワード	地域福祉のあり方／地域福祉を推進するための具体的な取組・手段 市や社会福祉協議会へのご意見・ご要望等 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
1) 地域福祉のあり方／地域福祉を推進するための具体的な取組・手段	
外出できる環境	○自由に外に出て行ける環境をつくってほしい。地区の小さなグループに対してもくまなくポッチャを広げ障がい者のとのつながりを持ってもらい、それを基に緊急時の支援の目がそこに向かうようになってほしい。
皆違って良い 尊重する社会	○「皆違って皆良い」という基本的な考えをもとに、自分と周りの人を大切に する、尊重する社会になってほしい。まずは「知ってもらう事」から始めたい。そういう機会を市や社協と協力しながら増やしていければと思っています。
情報発信・共有	◇地域での様々な取組の情報発信、共有
世代間交流	○世代間でもっと交流が盛んになったらうれしいと思う。子育て中の母としては近所の高齢者の方々に子育てを手伝ってもらいたい。あと昔の話や、農作業、暮らしの知恵など教えてもらいたい。
地域との関係構築	○行政と密な話し合いが必要。個々への支援、誰が誰を支援すべきか。地区の役員は1～2年で交代、これではいつもいつも一から出直すことになってしまいます。長期にわたり支援し続ける方がいないと、信頼関係が築けない、地区役員は地区で活動している団体を知るべきです。
地域福祉と子育て	◇地域福祉と子育てコンシェルジュとの連携強化 ◇地域福祉の取組を子育て中の家族への知識提供 ◇子育てコンシェルジュ研修の講師
重層的支援と地域	○上記の定義された問題は、大きく深く専門分野の知識が必要。地域に根を下ろさないと難しく感じる。
移動支援・巡回バス	○巡回バスの回数増（今までの実績利用人数で利用状況） 利用者数で小型の対応はできないか（小回りでき、回数を増やす?）。

キーワード	地域福祉のあり方／地域福祉を推進するための具体的な取組・手段 市や社会福祉協議会へのご意見・ご要望等 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
地域福祉の取組・手段	<p>○「地域福祉のあり方や、地域福祉を推進するための具体的な取組・手段」についての解説や活動を「市や社会福祉協議会」が担当者を固定して助走していただきたい。</p> <p>○自主防災会は規約、組織のひな型を渡しての提出で、活動支援がなかった。</p> <p>○役所の限界と役割。</p>
地域性の考慮	<p>○新興住宅地のメリット・デメリット、地域性を考慮した取組 →制度の狭間などの現体制で解決が難しい問題は、行政、専門職、住民が連携して対応を図ったり、解決策を考えることも必要だと思います。</p>
児童・生徒の参画	<p>○当団体で現在力を入れていることは、小中学校世代の若年の年代に参加していただくことです。多感な世代の子どもたちに参加していただき、多文化共生の素晴らしさや地域参画の意義を学んでもらうためです。またそこから親世代の参加につなげていきたいとも考えています。支援が必要な子どもがいれば、地域への参画を促し、必要とされることで自己肯定感を高めることができるのではないのでしょうか。</p>
高齢者(シニア)の活躍	<p>○今後労働者の数は減る一方ですので、元気な高齢者は働いていただくことが望ましいと考えます。私たちの活動は外国人の子どもたちにスポットが当たっていますが、実は高齢者の対策でもあります。活動している方々は生き生きと学校へ行ったり、市民館で子どもたちと勉強したりしています。また、学校の先生方は過重労働で困っていることも現実です。</p> <p>○地域の子どもたちは、地域で育てるをテーマにぜひご支援いただきたいと思います。</p>
健康づくり	<p>○地域ではそこに住んでいる人とのつながりが大切になる。</p> <p>○健康でなければ何事も取り組めない、健康づくりを切り口にイベントを展開したりして情報を集める。心身共に元気であることが大切。</p>
連携、アドバイス	<p>○今後も社員が幅広く社会貢献活動に取り組むことができるような施策を検討していくため連携、アドバイスなどよろしくお願いします。</p>
ソーシャルワーカーとの連携	<p>○保護観察対象者として関わりを持っているため対応が難しいが、今あるケースとして、今後ソーシャルワーカー等相談ご指導を必要とする事案は出てくると思う。保護観察所主任官では指導しかねることがある。</p>
制度・分野の『縦割り』の関係を越える福祉の学び	<p>◇子ども・障害・高齢・生活困窮と分野別に支援担当省庁・市の担当も異なっているため、支援体制があっても見えにくくなっており認知症ケアパスの様な一覧表・冊子があると支援・連携しやすい。</p> <p>◇地域福祉は縦割りでは機能することが難しいと思います。どの分野においても福祉の学びが行える環境が必要ではないのでしょうか。</p> <p>◇自主的に学ぶ方だけでなく、児童や学生、企業や地域に属する全て人が自ずと福祉とは何か、自分達に出来ることは何かを考え、実行できる社会づくりはどのように行うべきか、それこそしっかりと検討する必要があると思います。</p> <p>◇現在の高齢者と今後の高齢者では考え方や行動が変容してくると思われま。そこにも対応できるような体制整備を望みます。</p>

キーワード	地域福祉のあり方／地域福祉を推進するための具体的な取組・手段 市や社会福祉協議会へのご意見・ご要望等 ○=団体（専門機関以外）、◇=専門機関
分野を超えたネットワークと意識醸成	◇問6の「重層的支援体制の整備」での考え方と同様だが、分野を超えた関係機関や地域での活動団体とのネットワークの強化が必要。また当センターを含め、刈谷市内の関係機関が縦割りではなく横断的に対応する意識醸成も大切ではないかと考える。
地域福祉と子ども 地域包括支援センターの普及	◇「8.ダブルケア」「11.子どもの貧困」の相談は今年度夏頃から増えた。近隣の保育園に足を運び周知活動を行った。今まではなかった事例も今後はあるかもしれない。予備知識として当センターの普及活動も大切だと思った。
窓口の周知	◇高齢者や障害などに関する中心的な窓口の周知活動を拡大できると良い。
2) 市や社会福祉協議会へのご意見・ご要望等	
社会福祉協議会のリーダーシップ	○社会福祉協議会が中心となり、主体的に動くことが必要だと思います。 ○社会福祉協議会が中心となり、各地区のベクトルを合わせることが必要だと思います。現状は地区がそれぞれ独自の活動をしております。 ◇社会福祉協議会は全域を網羅していますので、地区の特色や暮らしの利便さ、足りない資源も詳しいと思います。どうかその人材の豊富さも加えて関係機関への良い循環と影響を与えていただきたいと思います。
生活支援コーディネーターと社協CSWの連携	◇生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターと社協のCSWがもっと連携がとれる体制ができれば、CSW中心に立ち上げている福祉委員会と第2層、第3層の協議体が合わせられないか。
社会福祉協議会との連携強化	◇「わが事・まるごと」の考え方が広がってほしいし、そのためにも、社協の職員さんと、他機関の職員さんが連携し合える事例を増やしてほしい。他市の例も参考に創造的な取組を期待します。